

学校・家庭におけるインターネット「活用指針」

(概要版)

子どもたちのインターネット等の「活用指針」検討プロジェクト
京都市教育委員会

インターネット利用の現状と大切にしたい子どもの姿

インターネット利用の現状と課題

利用人口は全人口の6割強，家庭への普及率は9割近く
小学5年生で7割近く，中学2年生で8割強が利用
利用時，保護者がそばにいない場合が圧倒的に多い

～有効性～

学びへの興味・関心
コミュニケーション能力
文章能力等様々な表現能力
問題解決に向けた能力

～危険性～

有害情報の流通
サイバー犯罪への関与
プライバシーの侵害
“インターネット中毒”化

- ・インターネットの危険性に対する正しい理解とそれを回避する力を培う必要性
- ・インターネット活用の基盤となる人権感覚・人権意識，豊かな人間性を育むことが大切

学校・家庭・地域・社会全体が協力した取組を

今日の子どもたちの状況

核家族化・少子化に伴う，家族同士のふれあい・隣近所での異年齢集団における遊びの場の減少
子どもたちの遊びの変化 <対人関係を伴う遊びから自己中心の遊びへ>

小学6年生でテレビゲームを1時間以上するのは5割強，男児は3 / 4強
小学6年生でテレビゲームをしないのは男児1割弱，女児5割弱

人間関係を結ぶ力の喪失

心の通いあう体験が少ない中で，人と人とのつながりを大切にする取組が必要
生活をより豊かにするためのインターネットの活用においてもこれは不可欠

大切にしたい子どもの姿

基本方針：「活用を通して育もうとする力」「活用の前提として育てなければならない力」の明確化
学校と家庭の「大切にしたい子どもの姿」の共有化

インターネットの「匿名性」「容易性」

日常生活における「ソーシャルスキル」

実体験の重要性：子どもたちにテレビやインターネット以上の「楽しみを」！
乳幼児期の「親子のスキンシップ」「様々な集団内での遊び」
小・中学校での体験学習
家庭や地域での行事への参加，本の読み聞かせ

保護者として，大人としてしなければならないことを必ず実行することが，私たち大人の責務である。

学校における指導計画

「相手の人権」を大切にす



「自分の人権」を大切にす

「感覚」をもち、

人と人との「ふれあい」や「豊かな人権コミュニケーション」を大切にす児童・生徒

子どもたちの発達段階と情報機器の活用状況・実態を考慮し、年間指導計画・指導案・指導資料を作成しました。

小学校 インターネットを積極的に活用した交流活動の場面を想定した具体的な指導内容
インターネットを活用した交流活動の場面を中心に6領域を設定し、発達段階を考慮しながら計24回（1回当たり25分間）の指導事項を厳選しました。



コンピュータの使い方

みんなが安心して使うために

情報発信

責任ある態度で

楽しい交流

電子メール・電子掲示板で

著作権

つくった人の気持ちを大切に

情報選択

真偽を確かめるために

セキュリティ

パスワード・ウィルス

中学校 インターネット上で発生しやすいトラブルを想定した具体的な指導内容
中学校ではインターネット上で発生しやすいトラブルの場面を中心に4領域を設定し、計9回（1回当たり25分間）の指導事項を厳選しました。



電子メール

ウィルスメール
チェーンメール 他

電子掲示板・チャット

誹謗中傷・発言責任
なりすまし 他

Webページ

有害ページ・有料サイト
著作権・自己責任 他

ネット売買

トラブル相談窓口
賢い消費者 他

豊かな人権感覚を育みながら、人と人とのふれあいやコミュニケーションを大切にし、責任ある態度で活躍してくれる未来の子どもたちを育成します。

高度情報通信ネットワーク社会におけるインターネットの危険性を理解

京都市立小・中学校では、フィルタリングソフトにより「閲覧できる情報の制限」を実施

インターネットは、学習をすすめる上で大切な道具の一つです。しかし、インターネット上に流れている情報のなかには子どもたちにとって不適切な情報があり、その危険性も指摘されています。次世代をになう子どもたちは、社会の中で情報が果たす役割や利点だけでなく、「インターネットがもたらす危険性」を十分に理解する必要があります。そして、情報社会の創造に積極的に参画できる態度を育成します。

家庭におけるインターネット活用指針

近年，社会の情報化は急激に進んでいます。学校では，フィルタリング・ソフトの導入等，環境面や指導面で様々な措置を講じながら，コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を教育活動に積極的に取り入れています。

子どもたちのインターネット利用に関しては，危険性を十分に理解し，単に活用できる技能を身につけるだけでなく，その活用を通して豊かな人間性を育むことが大切です。そのためには，家庭においても適切な環境の下，発達段階に応じた利用が必要です。

家庭でのインターネット利用



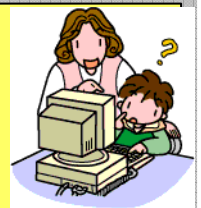
インターネットは決して理想的な世界ではありません。インターネットが直接的・間接的に関わっている事件を新聞やテレビでよく目にします。インターネットの危険性に関しては現実の問題として具体的な対策が必要です。

「インターネットを利用するのは，とても良いこと。」という無条件な思い込みや，「インターネット(パソコン)はよく知らないから。」という放任は子どもたちを危険に直面させます。

家庭でインターネットを利用させる場合は，学校での学習の発展学習という立場から子どもたちに使用させることが大切です。

<インターネット利用の8つのルール>

- (1) 利用開始は小学校2年生以上から
- (2) 使用目的や用途を把握する。
- (3) インターネット(パソコン)の使用時間を決める。
- (4) パソコンは，居間などの家族の共有場所に設置する。
- (5) ホームページを作成しているときは，事前に確認する。
- (6) 有害サイトへの接触を防止する。(フィルタリング・ソフトを導入する。(http://www.iajapan.org/rating/))
- (7) 掲示板，チャットの利用は原則として禁止する。
- (8) 子どもとともに学びましょう。



携帯電話でのインターネット利用

携帯電話は，メールやインターネット閲覧，掲示板など，パソコンと変わらないインターネット利用が可能です。携帯電話の使用についても子どもたちと話し合い，ルールを決めておく必要があります。



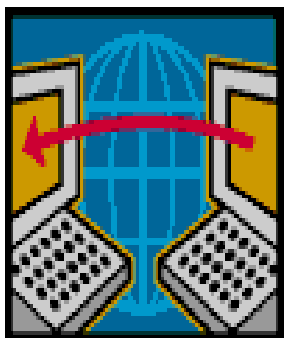
小学校「情報モラル」学習指導案一覧

青色欄は、主に相手を「守る」「大切に」する視点から作成

黄色欄は、主に自分を「守る」「大切に」する視点から作成

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	コンピュータをみんながきもちよくつかうために、どんなことをたいせつにしたいのでしょうか。	インターネットをつかって見るのできるしゃしんや文には、どんな気もちがこめられているのでしょうか。	インターネットを使って見るのできる写真や文を使うとき、どんな使い方をすれば作った人がうれしい気持ちになるのでしょうか。	電子メールを送るときには、どんなことを大切にしたいのでしょうか。	インターネットを使って交流するときには、どんなことを大切にすればいいのでしょうか。	インターネットを使って交流するときには、どんなことを大切にすればいいのでしょうか。
	コンピュータの使い方 次の人	著作権 写真や絵	著作権 改変	電子メール わかる内容	楽しい交流 なりすまし	楽しい交流 書き言葉
(25分)	一人一人が、「次に使う人の気持ち」を考えて使うことが大切であることを知り、みんなが気持ちよくコンピュータを使うことができるようにするためにどうすればよいのかについて考える。	インターネットから取り入れた絵や写真を勝手に変えたり、勝手に使ったりすることで、いやな気持ちになってしまう人がいるかもしれないことを知り、よりよい使い方を考える。	インターネット上に公開されているものには、すべて著作権があることを知り、著作権を守ることは、著作者の人権を守ることにつながることを考える。	電子メールは送信ボタンをクリックすると二度と取り返せないことを知り、相手がこの電子メールをもらっていやな思いをしないか、意味は伝わるか、という2点で見直すことが大切であることを考え	電子掲示板やチャットなど匿名で参加できるネット社会の特性を知り、簡単にできる「なりすまし」がどれほど人の気持ちを傷つけるものになるか、考える。	電子掲示板やチャットでもし誤解が生じたときは、会える友達なら直接あって話をするのが大切であることを知り、「書き言葉」で気持ちを伝えるときに大切にするとは何かについて考える。
7月	コンピュータをつかうとき、どうしてパスワードをたいせつにするのでしょうか。	インターネットのじょうほうは、すべて正しいじょうほうなのでしょうか。	インターネットで学習をするときには、どんなことを大切に調べてほしいのでしょうか。	インターネットの情報は、すべて正しい情報なのでしょうか。	自分に関係のない電子メールがきたときには、どうしたらいいのでしょうか。	インターネットの情報が正しいかどうか、「自分で判断、するために、どんなことを大切にすればいいのだろうか。
	セキュリティ パスワード	情報選択 真偽	情報選択 検索	情報選択 真偽	電子メール 情報選択	情報の真偽 情報選択
(25分)	ネットワーク社会の一員としてパスワードが大切な役目をもっていることを知り、パスワードの正しい扱い方について考える。	インターネットに公開されている情報の一部には、正しくない情報もあるということをいくつかの例示によって知り、「ほんとうかな?」とたどまるとの大切さについて考える。	インターネットを使って検索する際、いろいろなページに目がいきがちだが、自分がほしい情報を、めあてをもって検索することが自分の学習を進める上で大切であることを知り、よりよい使い方を考える。	インターネット上の情報にすぐに反応することは決してよいことばかりではないことを知り、だが、何のために情報を発信しているのかをたどまると考えることの大切さや、情報をうのみすることの危険性について考える。	安易な電子メールの返信は、個人情報や情報が漏れることにつながることを知り、自分を守るために、差出人のわからない電子メールは基本的に破棄・無視することが必要であることの意味について考える。	様々なインターネットからの情報を正しく判断するときに謙虚な気持ちと思いやりの心が大切であることを知り、情報をバランスよく正確に判断するために、どんなことを大切にすればいいのかを考える。
12月	みんなのさくひんにはどんないいところがあるのでしょうか。	けいじ板やでんしメールで、気もちのよい書き方はどれでしょうか。	インターネットで友だちと楽しくこうりゅうするために、どんなことを大切にしたいのでしょうか。	インターネットで交流しているとき、見ている人が楽しい気持ちになるには、どんな書き込みをすればいいのでしょうか。	すてきなホームページをつくるには、どんなことを大切にしたいのでしょうか。	すてきなメールを作るには、どんなことを大切にしたいのでしょうか。
	著作権 よいところみつけ	楽しい交流 文字中心	楽しい交流 まず訂正	楽しい交流 第三者	ホームページ作成 情報発信	電子メール 情報発信
(25分)	一人一人の作品は、同じものがないことを知り、友達作品のいいところを見つながら、それぞれの作品に込められた願いや思いについて考える。	電子掲示板や電子メールは、「文字」が中心の世界であることを知り、だれがみても気持ちのよい内容であることが大切であることを、よい見本を見せながら考える。	電子掲示板やチャットでは、ハンドルネームで参加していても嘘を書き込んではいけないことや、間違えて送信した場合は、まずは訂正の文を送ることが大切であることを知り、責任ある使い方について考える。	電子掲示板やチャットは、第三者も簡単にみることができていることを知り、何気ない悪口やうづぶん晴らしが大きくなっていく可能性や思わぬ方向へ発展してしまう危険性があることについて考える。	インターネットで情報を発信するときは、だれが見ても気持ちのよい情報や正しい情報の掲載が大切であることを知り、責任をもって情報発信できるように大切にしたいことについて考える。	電子メールで文字を使うときは、声や表情が伝わらないので、話したい内容が正しく伝わるように十分に注意する必要があることを知り、発信する前に必ず見直すことの大切さについて考える。
2月	コンピュータをつかっていてこまったときは、どうすればいいのでしょうか。	インターネットで学習をするときには、どんなじょうほうをさがせばいいのでしょうか。	インターネット上で名前などをしつもんされたとき、なんでもすぐに答えることは、いいことなのでしょうか。	インターネットでは、なんでもすぐにダウンロードしてもいいのでしょうか。	インターネットを興味本位で使うことは、どんな危険な可能性につながるのでしょうか。	どんなことを大切にコンピュータを利用したらいいのでしょうか。
	コンピュータの使い方 安心	情報選択 検索	個人情報保護 安全	セキュリティ ウィルス	情報選択 危険性	コンピュータの使い方 悪影響
(25分)	コンピュータを使っていて困ったときに自分一人で悩むことなく、大人といっしょに安心して学習を進めていくことができることを知り、みんなで安心してコンピュータを使うために大切にしたいことについて考える。	インターネットを使うときは、TPOに応じて自分自身で選ぶことが自分の学習を進める上で大切であることを例示を通して知り、学習の時間にどんな情報を探していけばいいのかを考える。	個人情報の収集だけを目的にするようなホームページがあることを知り、安易にアンケートに答えたり、電話番号を書き込んだりするなどの個人情報を漏らさないことが自分を守ることにつながることを考える。	安易にゲームファイルのダウンロードを行ったり、興味本位で添付ファイルを開けたりする行為が、ネットワークそのものを壊す可能性があることを知り、ウィルス被害に遭わないようにするためにどうすればいいのかを考える。	興味本位で自殺や薬物に関するサイトをさがしたり、安易にオンラインショッピングに参加したりすることが、自分の生活に重大な影響を与えることにつながる場合があることを知り、よりよいインターネットの使い方を考える。	「チャット依存症」のように、コンピュータに夢中になりすぎると、自分の生活でどんな悪影響が生じてくるのかを知り、正しい使い方を考える。

中学校版 「情報モラル」学習指導案一覧表

	電子メール	電子掲示板・チャット	WEBページ	ネット売買
相手	電子メールで、どうすれば相手に自分の気持ちを伝えることができるか考えてみよう。また、トラブルになったときの対処について学習しよう。	電子掲示板やチャットでの書き手としての注意事項やマナーについて考えてみよう。また、トラブルになったときの対処について学習しよう。	WEBページを使って、情報収集するためには、どんなことに注意をすればよいか考えてみよう。	ネットショッピングや、ネットオークションを利用する上での注意事項やネットショップ等での売買での注意事項を考えてみよう。
	電子メールは、しゃべり言葉のままであったり、相手の顔がみえなかったりしたとき、どんな書き方をすれば、相手に自分の気持ちが伝わるだろうかを考慮を通して、発信者としてのマナーを考えさせる。また、トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。	電子掲示板やチャットの性質を知り、「書き手」として、記入する上で大切なことはなにかを話し合わせたり、考えさせて、電子掲示板やチャットの記入上の注意事項やマナーを指導する。また、トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。	WEBページの内容については、正確であるか、新しいものであるかなど、各人が責任を持つことになっている。そこで、受ける側としてどのようにして確認すればよいか、どんな点に注意すればよいかなど、注意事項やモラルを指導する。また、トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。	安心して購入したり、ネットショップを開設するためのネット上での売買についての注意事項やマナーを指導する。また、トラブルにあったとき、どのようにすればよいかを話し合わせたりして、正しい解決の方法を指導する。
	発言責任・書き方・信頼性	誹謗・中傷・発言責任・チャット・なりすまし	有害ページ・有料ページ・出会い系サイト・内容の真偽確認・自己責任	賢い消費者・トラブル相談窓口
自分	チェーンメールについてどんな点が間違っているのか、どのように対処するか考えてみよう。	電子掲示板での受け手(読み手)としての注意事項やマナーについて考えてみよう。	WEBページを作成する上の注意しなければならないことは、何かを考えてみよう。	
	「不幸の手紙」のように、不特定多数に出すチェーンメールについて、出す側・受ける側の気持ちを考えさせて、防止・阻止するための方法を指導する。	電子掲示板の性質を知り、利用上の注意点を話し合ったり、多くの人の意見を聞いたりなど、受け手(読み手)としての注意事項やマナーを指導する。また、トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。	WEBページは、見るものが内容を見極め、判断することが求められていますが、作る側の責任やモラルや著作権・肖像権・個人情報などを指導する。また、トラブルになったときの正しい対処法を知らせる。	
	無視・受け手の気持ち・ウイルスメール	多様性・質問・コメント・信憑性	発信責任・誹謗・中傷・個人情報・肖像権・著作権・ストーカー行為	
自分	メールを受けたり読んだりするとき、どんなことに注意をすればよいかを考えてみよう。	電子掲示板やチャットを利用するとき、個人情報等で注意しなければならないことを考えてみよう。		
	メールには、不愉快な内容や、虚偽の情報などが含まれたりしている。こんな場合、どのように対処すればよいかを考えたり話し合わせて、受信者としてのマナーを指導する。	電子掲示板やチャットの負の性質を知っている情報を読んだり、見たり、書いたりして、相手がどんな気持ちになるかを考えさせると共に、コミュニケーション・個人情報の大切さを指導する。		
	虚偽情報・確認	誹謗・中傷・発言責任・コミュニケーション		<p>インターネットは「匿名性」や「仮面性」を持っていますが、決して特別な世界ではありません。現実の社会と同様に、人の人権を傷つけることや犯罪などの行為は決して許されないことです。インターネットでも、他の人々の人権、そして自分の人権を大切にしましょう。</p>

自分 主に自分を「守る」「大切にする」視点から作成

相手 主に相手を「守る」「大切にする」視点から作成